

◆総合型選抜小論文問題 出題意図
現代教養学環

問題	出題意図	解答例
第1回	<ol style="list-style-type: none"> 「SNSという環境の中で形成される自己の意思決定を批判的に捉え、主体性とは何かを再定義できるか」が出題意図になります。特に、自分の判断がどこまで自律的で、どこからが外部影響なのか、メディアリテラシーの観点、具体的なSNSを使用した自己の経験を記述することが重要です。 「横浜市を対象に、持続可能性の観点から課題を構造的に捉え、現実的な解決策を主体的に構想できるか」が出題意図になります。特に、横浜市の人口問題や都市構造などの持続可能性に関わる課題を、自分の聞いた、見た、経験したことを軸に、具体的な課題解決を考え、記述することが重要です。 「身近な商品を題材に、比較に基づく客観的分析を行い、強みと弱みをバランスよく評価できるか」が出題意図になります。特に、自分の提起した商品に関して、実体験に基づいた具体的分析をしつつ、競合製品や市場での位置付けを行い、客観的な価値観に基づき記述することが重要です。 「多文化共生という課題を地域の現実に即して構造的に分析し、共に生きるための条件と具体的施策を主体的に構想できるか」が出題意図になります。特に、多文化共生を説明し、指定された地域における具体的な地域固有の課題を自己の経験に重ねて、課題解決方法を考え、記述することが重要です。 「脱炭素という複雑な政策課題を日本の文脈で構造的に分析し、現実的かつ多面的な施策を主体的に構想できるか」が出題意図になります。特に、「脱炭素社会」を説明し、日本固有のエネルギーの課題を明確にしつつ、実現可能性の高い施策を考え、記述することが重要です。 	<p>解答は一つの正答があるというものでなく複数あることが予想されるため、出題意図のみ掲載する。</p>
第2回	<ol style="list-style-type: none"> 「SNSという環境の中で形成される自己の意思決定を批判的に捉え、主体性とは何かを再定義できるか」が出題意図になります。特に、自分の判断がどこまで自律的で、どこからが外部影響なのか、メディアリテラシーの観点、具体的なSNSを使用した自己の経験を記述することが重要です。 「横浜市を対象に、持続可能性の観点から課題を構造的に捉え、現実的な解決策を主体的に構想できるか」が出題意図になります。特に、横浜市の人口問題や都市構造などの持続可能性に関わる課題を、自分の聞いた、見た、経験したことを軸に、具体的な課題解決を考え、記述することが重要です。 「身近な商品を題材に、比較に基づく客観的分析を行い、強みと弱みをバランスよく評価できるか」が出題意図になります。特に、自分の提起した商品に関して、実体験に基づいた具体的分析をしつつ、競合製品や市場での位置付けを行い、客観的な価値観に基づき記述することが重要です。 「多文化共生という課題を地域の現実に即して構造的に分析し、共に生きるための条件と具体的施策を主体的に構想できるか」が出題意図になります。特に、多文化共生を説明し、指定された地域における具体的な地域固有の課題を自己の経験に重ねて、課題解決方法を考え、記述することが重要です。 「脱炭素という複雑な政策課題を日本の文脈で構造的に分析し、現実的かつ多面的な施策を主体的に構想できるか」が出題意図になります。特に、「脱炭素社会」を説明し、日本固有のエネルギーの課題を明確にしつつ、実現可能性の高い施策を考え、記述することが重要です。 	<p>解答は一つの正答があるというものでなく複数あることが予想されるため、出題意図のみ掲載する。</p>
第3回	<ol style="list-style-type: none"> 「SNSという環境の中で形成される自己の意思決定を批判的に捉え、主体性とは何かを再定義できるか」が出題意図になります。特に、自分の判断がどこまで自律的で、どこからが外部影響なのか、メディアリテラシーの観点、具体的なSNSを使用した自己の経験を記述することが重要です。 「横浜市を対象に、持続可能性の観点から課題を構造的に捉え、現実的な解決策を主体的に構想できるか」が出題意図になります。特に、横浜市の人口問題や都市構造などの持続可能性に関わる課題を、自分の聞いた、見た、経験したことを軸に、具体的な課題解決を考え、記述することが重要です。 「身近な商品を題材に、比較に基づく客観的分析を行い、強みと弱みをバランスよく評価できるか」が出題意図になります。特に、自分の提起した商品に関して、実体験に基づいた具体的分析をしつつ、競合製品や市場での位置付けを行い、客観的な価値観に基づき記述することが重要です。 「多文化共生という課題を地域の現実に即して構造的に分析し、共に生きるための条件と具体的施策を主体的に構想できるか」が出題意図になります。特に、多文化共生を説明し、指定された地域における具体的な地域固有の課題を自己の経験に重ねて、課題解決方法を考え、記述することが重要です。 「脱炭素という複雑な政策課題を日本の文脈で構造的に分析し、現実的かつ多面的な施策を主体的に構想できるか」が出題意図になります。特に、「脱炭素社会」を説明し、日本固有のエネルギーの課題を明確にしつつ、実現可能性の高い施策を考え、記述することが重要です。 	<p>解答は一つの正答があるというものでなく複数あることが予想されるため、出題意図のみ掲載する。</p>
第4回	<ol style="list-style-type: none"> 「SNSという環境の中で形成される自己の意思決定を批判的に捉え、主体性とは何かを再定義できるか」が出題意図になります。特に、自分の判断がどこまで自律的で、どこからが外部影響なのか、メディアリテラシーの観点、具体的なSNSを使用した自己の経験を記述することが重要です。 「横浜市を対象に、持続可能性の観点から課題を構造的に捉え、現実的な解決策を主体的に構想できるか」が出題意図になります。特に、横浜市の人口問題や都市構造などの持続可能性に関わる課題を、自分の聞いた、見た、経験したことを軸に、具体的な課題解決を考え、記述することが重要です。 「身近な商品を題材に、比較に基づく客観的分析を行い、強みと弱みをバランスよく評価できるか」が出題意図になります。特に、自分の提起した商品に関して、実体験に基づいた具体的分析をしつつ、競合製品や市場での位置付けを行い、客観的な価値観に基づき記述することが重要です。 「多文化共生という課題を地域の現実に即して構造的に分析し、共に生きるための条件と具体的施策を主体的に構想できるか」が出題意図になります。特に、多文化共生を説明し、指定された地域における具体的な地域固有の課題を自己の経験に重ねて、課題解決方法を考え、記述することが重要です。 「脱炭素という複雑な政策課題を日本の文脈で構造的に分析し、現実的かつ多面的な施策を主体的に構想できるか」が出題意図になります。特に、「脱炭素社会」を説明し、日本固有のエネルギーの課題を明確にしつつ、実現可能性の高い施策を考え、記述することが重要です。 	<p>解答は一つの正答があるというものでなく複数あることが予想されるため、出題意図のみ掲載する。</p>
第5回	<ol style="list-style-type: none"> 「SNSという環境の中で形成される自己の意思決定を批判的に捉え、主体性とは何かを再定義できるか」が出題意図になります。特に、自分の判断がどこまで自律的で、どこからが外部影響なのか、メディアリテラシーの観点、具体的なSNSを使用した自己の経験を記述することが重要です。 「横浜市を対象に、持続可能性の観点から課題を構造的に捉え、現実的な解決策を主体的に構想できるか」が出題意図になります。特に、横浜市の人口問題や都市構造などの持続可能性に関わる課題を、自分の聞いた、見た、経験したことを軸に、具体的な課題解決を考え、記述することが重要です。 「身近な商品を題材に、比較に基づく客観的分析を行い、強みと弱みをバランスよく評価できるか」が出題意図になります。特に、自分の提起した商品に関して、実体験に基づいた具体的分析をしつつ、競合製品や市場での位置付けを行い、客観的な価値観に基づき記述することが重要です。 「多文化共生という課題を地域の現実に即して構造的に分析し、共に生きるための条件と具体的施策を主体的に構想できるか」が出題意図になります。特に、多文化共生を説明し、指定された地域における具体的な地域固有の課題を自己の経験に重ねて、課題解決方法を考え、記述することが重要です。 「脱炭素という複雑な政策課題を日本の文脈で構造的に分析し、現実的かつ多面的な施策を主体的に構想できるか」が出題意図になります。特に、「脱炭素社会」を説明し、日本固有のエネルギーの課題を明確にしつつ、実現可能性の高い施策を考え、記述することが重要です。 	<p>解答は一つの正答があるというものでなく複数あることが予想されるため、出題意図のみ掲載する。</p>